

改訂保存版

この文書はご家庭で見やすいところに掲示してください。

平成 22 年(2010 年)7 月 1 日

保護者の皆様

豊中市立刀根山小学校
校長 永井 英夫

非常変災時の措置について

I. 台風、暴風・大雨・洪水等警報

II. 大地震

台風や大雨で『暴風警報』『大雨警報』『洪水警報』のいずれかが発令されたり、大地震（震度5以上）が発生したりするなどの非常変災時には、子どもの安全を確保することを最優先して下記のとおり措置をいたしますので、ご理解の上ご協力ください。

I 台風や大雨による『暴風警報』『大雨警報』『洪水警報』のいずれかが「豊中市」もしくは「豊中市を含む地域」に発令中の場合

①登校前

時刻	警報	学校	給食
～午前7時まで	発令中	自宅待機	
	解除	普通授業	給食あり
午前7時以降 午前9時まで	発令中	自宅待機	
	解除	解除次第 集団 登校 普通授業	給食あり※
午前9時以降 午前10時 まで	発令中	自宅待機	
	解除	解除次第 集団 登校 午前中授業	給食中止
午前10時まで	発令中	臨時休業	

時刻について

まで⇒□時59分時点

以降⇒□時00分時点

※午前9時までに警報が解除された場合、可能な限り給食を実施します。

※警報が解除され登校する場合について -----

保護者へはメールと連絡網の2系統で登校のお知らせを行います。

☆学校：「豊中市あんあんめーる」による配信⇒保護者

☆学校⇒地区委員長⇒地区委員：「地区連絡網」による電話⇒保護者

◎原則、登校班ごとに集合して登校します。登校する時刻は、児童の安全を第一に考え、警報解除から30分後を目安とします。

②登校後

緊急の下校、または学校待機のいずれかですが、

- ・教育活動を停止せざるを得ないと判断した時は、通学距離・時間、通学路の安全を勘案し、まず安全確保に努めます。
- ・PTA地区委員さんとの連絡を密にし、協力を得て混乱を生じないように努めます。

II 豊中市内に震度5以上の地震が発生した場合。

①早朝で登校以前→ **自宅待機**

甚大な被害が生じた時、本校も一時避難場所ですが、

→府立刀根山高等学校、市立とねやま幼稚園、府立刀根山支援学校、各集会所なども緊急避難場所となります。

②登校後

台風などの警報に準じますが、

- ・学校施設は緊急の避難所にもなっておりますが、まず子どもの安全確保に努めます。
- ・PTA地区委員さんとの連絡を密にし、通学路の安全などを勘案し、協力を得ながら混乱を生じないように努めます。

※ I、IIなどの非常変災時に、保護者の判断で子どもの安全確保上の問題から登校させなかった場合は欠席扱いとはいたしません。当日の連絡が困難な時は、事後でも結構ですので連絡帳などでご連絡ください。

Ⅲ 子どもの安全に関わって、不審者対策

近年、不審者による子どもたちへ不安を与える事案が増えております。また、電話などによるいたずらも後を絶ちません。以下の点につきましても、ご理解とご協力をお願いいたします。

学校への通報、連絡などで、子どもたちの安全確保が必要になった時、以下の3つの段階で、子どもの安全確保に努めます。また、集団下校などの措置をとった場合、保護者の皆様への事由報告は、必要に応じて口頭または文書でお伝えします。

- | | |
|--------------------|---|
| ① グループ下校
(レベル1) | 1. 学年毎に3～4地域に分けて、一斉下校します。
2. 教師は引率しませんが、校区巡視を適宜実施いたします。
3. 地区委員さんは学校からの指示があった時、集合場所に立って頂きます。
4. レベル1では地区委員さんのみの連絡となりますが、必要に応じて「あんあんめーる」でお知らせします。 |
| ② 集団下校
(レベル2) | 1. 全校一斉に地区毎に集団下校します。
2. 教師も集団登校班、集合場所まで引率します。
3. 地区委員さんは担当教師から引き継いで子どもを自宅近くまで送ります。
4. 「あんあんめーる」に加えて、地区委員の連絡網により全家庭に連絡します。 |
| ③ 学校待機
(レベル3) | 1. 子どもたちは学校内で待機します。
2. 「あんあんめーる」に加えて、地区委員さんと学級の連絡網により、全家庭に連絡し、保護者の方は学校まで子どもを迎えに来ます。 |

※ ひまわり学級の子どもたちについては、豊中市子ども未来部子育て支援課の指示を得た上で、安全確保に努めております。

Ⅳ 日常の子どもの安全について

非常時の措置については、以上の通りですが、日常から子どもたちの安全について、ご家庭でもよく話し合ってくださいようお願いします。

1. 外出は ①行き先 ②誰といっしょに ③帰宅時刻
この3つを必ず約束させてください。これにより初期対応が大きく違ってきます。
 - ① どこへ行く 保護者の方は子どもの遊び場所を把握してください。
 - ② 誰といっしょ なるべく一人では出かけない。
 - ③ 何時に帰る 遅くなる時、連絡をする。大人に送ってもらう。

2. また被害にあいかけたら、「No」「Go」「Tell」で危険回避
 - No いやなこと、不審なことはきっぱり断る。
 - Go その場から離れる、逃げる。「子ども110番」の家に逃げ込む。
 - Tell 事実を大人に話しましょう。一人でがまんしてはいけません。

<お願い>

①非常変災時や不審者対策に関わっては、緊急度が高いほど学校の電話は重要になります。しかし、学校の電話は2回線しかなく、これまでも緊急時に多くの電話が学校へかかり、教育委員会や関係機関、保護者への大切な連絡が通じないことが度々ありました。今後も学校への直接の問い合わせは、控えていただくよう重ねてお願いします。

②学校連絡メール「豊中市あんあんめーる」でも必要に応じて情報の配信を行います。まだ登録をされていない場合は、ぜひ登録をお願いします。
toneyama32@city.toyonaka.osaka.jp
に空メールを送信すれば、登録用のメールが届きます。